

平成24年度鎌倉市民事業評価(鎌倉市版事業仕分け)評価結果集計表(平成24年10月6日実施)

事業番号	中事業名	事業所管課等	評価結果(数字は市民評価人の数)					提言(事業の改善点)に向けての主なポイント
			不要	必要性の再検討	国・県・広域	要改善	現行どおり	
1	支所管理運営事務	腰越支所 深沢支所 大船支所 玉縄支所	0	0	0	9	0	<ul style="list-style-type: none"> ・窓口業務の需要と事務量を分析し、本庁、支所どちらで担うのがふさわしいか判断すべき。 ・地域コミュニティについての全体像(ビジョン)を明確にした上で、その拠点機能を担うべき。 ・支所機能、行政センターそのものの有り方を検討すべき。
2	がん検診事業	市民健康課	0	0	2	6	1	<ul style="list-style-type: none"> ・健康面、費用面から早期発見、早期治療の効果がわかる分析をすべき。 ・財政負担を考慮し、自己負担を増やすには、受診者の理解を得る必要があり、そのためにも早期発見、早期治療の効果を分析すべき。 ・検診の効果を把握するため、健康情報システムを活用すべき。 ・受診率のバラつきについて検証し、率を上げる検討を行うべき。受診率ではなく、市民のQOL(クオリティ・オブ・ライフ)を指標にするべき。 ・国への働きかけと並行し、引続き市独自の努力を行うべき。
3	図書館管理運営事業	中央図書館	1	1	0	9	3	<ul style="list-style-type: none"> ・市の図書館としての全体像(ビジョン)を明確にすべき。 ・人件費枠を抑制し、サービス(開館時間等)の拡大を図るべき。 ・老朽化施設への対応(複合化を含む検討)を検討すべき。
4	生涯学習センター管理運営事業	教育総務課	0	1	0	10	2	<ul style="list-style-type: none"> ・自催講座の内容と制度のあり方について見直しをすべき。 ・複合施設として効果的に活用できる管理運営の方法を検討すべき。 ・学習センター業務を支所と共同で行うことを検討すべき。 ・生涯学習推進委員会の役割と位置づけを明確にすべき。
※模擬評価	鎌倉国宝館管理運営事業	鎌倉国宝館	0	0	1	10	1	<ul style="list-style-type: none"> ・管理運営業務のうち、施設管理に係る部分については、一括管理委託、指定管理制度などの手法も含めて、改善を検討すべき。 ・博物館としての調査・研究業務の成果を計る指標、後世に安全に文化財を伝える業務の成果を計る指標、あるいは成果を表現する工夫をすべき。

※模擬評価は平成24年8月22日に実施済

※鎌倉市民事業評価(鎌倉市版事業仕分け)の評価結果は市の最終的な取組方針となるものではありません。
評価結果を尊重した検討を行い、市としての対応方針を決定いたします。